

**令和5年度  
(2023年度)**

**事業計画書**

**自 令和5年4月 1日**

**至 令和6年3月31日**



**公益財団法人 大田区文化振興協会**

## 目 次

1	計画の策定にあたって	・・・1
2	基本理念	・・・2
3	令和5年度の主要事業	・・・2～7
4	事業一覧	・・・7～17
	(1) 文化芸術振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業（第4条第1号関係）	
	(2) 文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業（第4条第2号関係）	
	(3) 文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業（第4条第3号関係）	
	(4) 文化芸術の活性化を図るための情報収集と発信に関する事業（第4条第4号関係）	
	(5) 文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業（第4条第5号関係）	
	(6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業（第4条第6号関係）	
5	経費内訳	・・・17

## 1 計画の策定にあたって

公益財団法人大田区文化振興協会（以下「協会」といいます。）は、昭和 62 年 7 月、区民の連帯と協調の輪を拡げ地域文化活動の振興に努めることを通じて、活力と思いやりのある文化福祉都市・大田区の実現に寄与することを目的とする財団法人として設立されました。平成 18 年 4 月からは、大田区の指定管理者として大田区民プラザ、大田区民ホール、大田文化の森、龍子記念館、熊谷恒子記念館の文化拠点施設を管理運営しています。平成 22 年 4 月には公益財団法人へ移行し、地域文化振興に取り組む公益目的の団体として、大田区と密接に連携し、文化芸術事業の提供ならびに区民の自主的な文化活動の支援などを行っています。平成 29 年 5 月には、協会創立 30 周年を機にコーポレートアイデンティティ（C I）の確立を図るため、「えがく かなでる ひびく」のキャッチフレーズとシンボルマークを定めました。協会が「扇」の『要』となり、人びとが文化芸術を通して未来に夢を描き、希望を奏で、多くの人びとの心に響き続けられるよう、事業を創造していく決意を新たにしました。

令和元年 5 月には、令和元年度から令和 5 年度を計画期間とする、中期事業計画を策定しました。文化芸術は、人と人、人と社会、人と感動、人と伝統、人と創造、人とまちづくりを「つなげる」機能があります。中期事業計画では、これを「区民の文化活動がつなげる人・感動・伝統・技・創造そしてまちづくり」のキャッチフレーズで表しています。また、区民が多様な文化を感じ、はぐくみ、活かすことを基本方針としています。少子高齢化の時代にあつて、協会は文化事業や文化施設運営を通じて、文化活動が区民の生活を豊かにし、社会とのつながりの場となり、地域力の活性化につながるよう、各種事業を計画的に推進しています。今年度が中期事業計画の最終年度となるため、新たな中期事業計画の策定に向けての準備も進めていきます。

コロナ時代においても芸術文化の持つ力やその振興の重要性に変わりはなく、このような時世だからこそ文化振興が必要だという信念を強く持ち取り組んでいます。「大田区文化振興協会感染拡大防止ガイドライン」に基づき、令和 5 年度も引き続き、国や東京都などの動向を注視しながら、状況に応じた感染拡大防止対策を講じ、運営を継続していきます。また、オンラインの活用など、新しい生活様式に対応した取組も、引き続き継続していきます。

令和 5 年 3 月には、大田区民ホール・アプリコが特定天井その他工事に伴う長期休館を終え、リニューアルオープンをしました。また、大田区民プラザにおいては、令和 5 年 3 月から、特定天井その他工事が始まりました。改修工事の実施にあたっては、円滑に進むよう、区に協力していきます。

協会は、今後も「文化振興を進めることで、人の存在価値を高めるとともに人生を豊かにし、個人と社会のつながりを強め交流を促進し、地域の活性化・魅力化を図ること」をミッションに掲げ、区との連携のもと協会一丸となって文化振興に取り組んでいきます。

## 2 基本理念

当協会は、大田区における文化振興を図り、もって地域活性化と魅力のある文化のまちづくりに寄与するため、区と連携して事業の推進に全力で取り組みます。

### 定款に定める事業（第4条関係）

- (1) 文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業
- (2) 文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業
- (3) 文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業
- (4) 文化芸術の活性化を図るための情報収集と発信に関する事業
- (5) 文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業
- (6) その他この法人の目的を達するために必要な事業

## 3 令和5年度の主要事業

中期事業計画（2019年度～2023年度）に掲げた取組から主な事業を紹介します

### 区民が多様な文化を感じる（基本方針1）

#### (1) 多様な文化芸術の提供

##### ①良質で多様な文化芸術の提供

区民が様々な文化芸術に触れることができるよう、音楽、演劇、舞踊、美術など、多様なジャンルによる優れた芸術作品などの鑑賞事業を実施します。

- ◆平日昼間のアプリコクラシックシリーズ～本と音楽の素敵な出会い～
- ◆南こうせつコンサートツアー2023～夜明けの風～
- ◆矢部達哉&横山幸雄 with 遠藤真理 ベートーヴェンの真髓
- ◆中村勘九郎・中村七之助「錦秋特別公演 2023」
- ◆小曽根真ソロ・ピアノコンサート
- ◆アプリコ・クリスマスフェスティバル 2023
- ◆第 89 回新春プラザ寄席 [アプリコ出張編]
- ◆第 36 回大田区在住作家美術展 他

##### ②新たな文化芸術の掘り起こし

若年層や勤労世代にも楽しんでいただけるような新しいジャンルの公演や、大田区の文化資源（文化人・歴史風土・建物・伝統行事など）を活かした事業などを企画し、国内外に発信します。

##### ◆馬込文士村 空想演劇祭 2023（OTA アートプロジェクト）

馬込文士村があった大田区にゆかりのある文士たちの文学作品を題材に、現代演劇やダンスなどの実演芸術を映像作品にしてご紹介する国内初の演劇祭です。令和3年度から映像をメインとした内容に変更し、タイトルを「空想演劇祭」と一部変更しましたが、映像作品の完成公開時期に合わせて、区民を対象とした有料の公演イベントを開催します。

◆蒲田映画企画（仮称）

「あたらしい映画の楽しみ方」をテーマに、映画を観るだけでなく、会場の魅力や来場者同士のコミュニケーションを目的とした交流型の映画上映会を開催します。昭和の時代、地域の娯楽の拠点だった映画館を一時的に復活させ、その魅力を生かした上映作品をセレクトし、誰でも楽しめる内容とします。会場は蒲田西口商店街にある「東京蒲田文化会館」を予定しています。

◆マチニエヲカクVOL.5「光と風のモバイルスケープ」(OTAアートプロジェクト)

大田区の公共空間にアートを仕掛けることで、新たな風景の創出を試みます。令和5年度は、アーティスト・小松宏誠のモバイルを用いて、自然現象とアートが融合する美しい風景を田園調布せせらぎ公園・せせらぎ館に仕掛けます。

◆トーク #loveartstudioOtA (OTAアートプロジェクト)

大田区ゆかりの現代アーティストが、自身のアトリエや作品を紹介するインスタグラム・ライブ配信事業です。毎回ゲストがリレーのバトンを渡すように、次に出演する地元のアーティストを紹介していきます。

◆トーク (OTAアートプロジェクト)

大田区ゆかりのヒト・モノ・コトを紹介するトーク。アーティスト・青山悟による、大田区の魅力的なアートスポットを自転車で巡るツアーガイドを開催します。

OTAアートプロジェクトとは？

大田区文化振興協会が、「アートでまちづくり」をテーマに大田区に点在するさまざまな文化芸術に関わるヒト・モノ・コトを文化資源として紹介し、未来に向けて新たに共創していく創造プロジェクトです。

③お客様のニーズに応じたチケット販売

これからの未来を担う若い世代が文化芸術に触れる機会を増やすことができるよう、「中学生以下」や「25歳以下」など、若年層向けの低価格のチケットを用意します。また、一定枚数以上の購入で割引を行う「団体割引サービス」を引き続き実施します。定期公演においては公演セット券を用意し、数多くご来場されるお客様がお得になるように取り組みます。

(2) 地域文化情報の発信

①多様化する区民ニーズにあった効果的な文化情報の発信及び収集

令和3年3月にリニューアルした公式ホームページでは、アクセス解析を定期的に実施し、随時ユニバーサルデザインを重視した修正を行っています。多様化する区民ニーズにあった情報発信ツールとしてSNSの活用を強化し、公式ホームページと連携した効果的なPRを推進していきます。

また、区民や芸術愛好家の皆様に効果的なPRを図るため、協会が実施する事業を掲載した情報誌と区内の文化・芸術情報を集めた情報紙を引き続き発行します。区内のケ

ーブル TV と連携した動画コンテンツの配信にも通年で取り組みます。

令和 3 年度に情報紙の PR 強化として制作した公式 PR キャラクター「リズビー」を効果的に活用し、新たな層へのアプローチとして、広報拡大に努めています。

区内のアート活動の紹介や、アートをテーマに参加者とディスカッションを行う場として、OTA アートミーティングを引き続き開催します。ミーティングの様子は、動画コンテンツとして YouTube や Instagram を活用し情報を発信していきます。

- ◆情報誌 Art Menu の発行（年 6 回）
- ◆大田区文化芸術情報紙 ART bee HIVE の発行（年 4 回）
- ◆協会公式番組 ART bee HIVE TV の放映（年 4 回）
- ◆協会公式ホームページ及び Twitter の運営
- ◆Facebook、YouTube、Instagram、LINE など SNS の活用
- ◆情報紙公式 PR キャラクターの活用
- ◆メールマガジンの配信（随時）
- ◆OTA アートミーティングの開催（年 1～2 回）
- ◆展示作品、展示資料、館の紹介、演奏動画、アーティストトークなどの YouTube での発信

## 区民が文化をはぐくむ（基本方針 2）

### （1）文化をはぐくむ人材の支援

#### ①文化芸術に関する人材育成

令和 4 年度に実施した若手芸術家の発掘・支援を目的にオーディションで採用した新進気鋭アーティストなどに対し、協会の鑑賞事業や普及事業を通じて発表の場を提供していきます。

- ◆アプリコお昼のピアノコンサート
- ◆アプリコお昼のピアノガラコンサート 2023
- ◆アプリコうたのナイトコンサート
- ◆ Future for OPERA in Ota, Tokyo 2023 イチから作る！みんなのコンサート♪

### （2）文化をはぐくむ機会づくり

#### ①誰もが文化にふれる機会づくり

区民の誰もが文化芸術に触れる機会を創出するため、質の高い多様な文化芸術を気軽に体験・学ぶことのできる講座、ワークショップなどを開催します。

- ◆第 36 回大田区在住作家美術展
- ◆アプリコ・アートギャラリー
- ◆夏休みアートプログラム
- ◆龍子記念館夏休み子どもギャラリートーク及び龍子記念館・熊谷恒子記念館ワークショップ

子どもたちが文化芸術に触れる機会づくりとして、小学生などを対象にした子ども向けギャラリートークやワークショップを行います。

#### ②アウトリーチ事業の展開

プロのアーティストを区内の小中学校に派遣し、音楽（クラシック、ジャズなど）、伝統芸能、舞踊、演劇、落語など、多彩なプログラムで開催します。一流の演奏などに触れることで、文化芸術への興味、関心を抱くきっかけを提供します。

#### ③ものづくり・教育・福祉など他分野との連携

教育や福祉など他分野との連携を図り、音楽、美術などの芸術分野に関連した教育・普及プログラムを実施します。

##### ◆大田区 JHS ウインドオーケストラ 春風コンサート（教育との連携）

平成 29 年度から、地域で一流の芸術を学ぶ環境整備を目指し、中学校課外活動支援事業として開催してきました。部員数の減少や専門的指導などの課題を抱える中学校吹奏楽部を対象に、参加者で合同バンドを結成し専門家の指導のもと、コンサートを行います。

##### ◆福祉施設訪問事業（福祉との連携）

区内在住のアーティスト・荻野夕奈が福祉施設の職員や施設利用者と一緒に、新しい自主製品を考えてつくるワークショップを行います。クリエイティブな視点による社会福祉事業の活性化に貢献します。

#### ④文化芸術・伝統文化の継承・支援

地域の伝統文化を受け継ぎ、支えている団体の自主的な活動が、持続的に発展しているよう支援します。

##### ◆洗足池 春宵の響

平成 7 年、洗足池西岸に三連太鼓橋が竣工したのを記念し、日本の伝統芸能と洗足池の美しい景観を楽しむ音楽会として継続して開催しています。今年度も、実行委員会の一員として役割を担います。

##### ◆下丸子 JAZZ 倶楽部と下丸子らくご倶楽部

大田区民プラザの開館以来、長年にわたり地元で親しまれ定着しているジャズ、落語の定期公演は今年で 30 周年を迎えます。今年度は、大田区民プラザの工事にとともに、会場を変えて大田区民ホール・アプリコと大田文化の森へ出張して開催します。

### 区民が文化芸術活動を活かす（基本方針 3）

#### （1）文化活動・資源の活用

##### ①協会のプラットフォーム化の推進

大田区の文化資源の情報収集・発信を目的とした区内の文化・芸術情報を集めた情報紙 ART bee HIVE の発行と、令和 3 年 3 月にリニューアルした協会ホームページ、各

種 SNS を最大限に活用し、関係団体・個人との相互リンクを拡充するなど、ネットワーク強化に努めています。

## (2) 文化施設の活性化

### ①文化芸術活動の場の充実と活用

協会が管理運営をしている記念館に、より多くの方にご来館いただけるよう、展示企画の充実を図ります。

#### ◆龍子記念館

- ・地域連携企画展「大田区美術家協会の現在地（仮）」
- ・コラボレーション企画展「川端龍子プラスワン（仮）」

#### ◆熊谷恒子記念館

- ・出張展覧会

池上会館「物語文学を中心に 恒子が愛用した書道具とともに」

アプリコ「折手本を通して 書齋で学び伝えたかな書（仮）」

### ②文化施設の運営と指定管理

区民の文化芸術活動が活発になるためには、拠点としての場が重要です。大田区民プラザ、アプリコ、大田文化の森などが、その拠点として活用されることが、まちの活性化や魅力ある文化のまちづくりにつながります。

これらの施設の設備面と運営管理の両面で充実を図り、快適で親しみやすい魅力ある施設とするため、指定管理者としての役割を十分に果たします。

大田区民プラザは、令和5年3月から令和6年4月まで（予定）特定天井その他工事のため休館となっています。安全安心と快適性を増した施設となるように、工事が着実に進捗するよう区に協力していきます。

#### ◆安全安心で快適な施設づくり

- ・協会の感染症拡大防止ガイドラインに即した新型コロナウイルス感染拡大防止対策の実施
- ・特定天井その他工事の実施（区民プラザ）
- ・特定天井その他工事の実施設計を区と連携、情報共有を密接にしながら実施（文化の森）
- ・火災、地震などへの対策として、自衛消防訓練（アプリコ・文化の森）の実施
- ・台風などの自然災害に向けた備えや、帰宅困難者受け入れ施設（アプリコ）、被災した妊産婦とその家族が助産師や保健師などの支援が受けられる避難所（大田文化の森）など、大田区と調整のうえ施設で行うべき対応策を実施
- ・情報セキュリティ対策の継続的な実施
- ・毎月の経営戦略会議に合わせた安全対策会議の開催



◆地域と密着した親しみやすい施設づくり

- ・地域拠点施設として、地域イベントなどと連携した施設運営（アプリコ開館 25 周年記念事業、さかさ川通りおいしい道計画、文化の森イルミネーション点灯や夏まつり他）

③区民協働の推進とまちづくりへの寄与

区内で音楽、舞踊、演劇などの活動を行っている愛好家とアーティストとの共同作業による本格的な舞台芸術作品を創り上げることを目指した区民参加型事業を行います。

◆舞台芸術創造事業（Future for OPERA in Ota,Tokyo 2023~子ども達とつくるオペラガラコンサート お姫さまを取り戻せ！！）

令和 4 年度から 3 年間のオペラプロジェクトを実施しています。公募で集まった区民合唱メンバーが、プロの演奏家と一緒にステージに立ち、オペラ全幕の開催を目指します。また、オペラを知らない子どもたち向けのワークショップも開催し、総合芸術であるオペラを「舞台制作」の視点からも楽しみながら学ぶことで、オペラに触れる機会を創出します。

## 4 事業一覧

### （1）文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業【定款第 4 条第 1 号】

令和 5 年 3 月から令和 6 年 4 月末まで（予定）大田区民プラザが工事休館となるため、今年度の公演事業においては、大田区民ホール・アプリコその他、大田文化の森や田園調布せせらぎ公園・せせらぎ館、東京蒲田文化会館などを利用し、音楽や伝統芸能、演劇、現代アートなど、質の高い鑑賞事業を企画し、区民が鑑賞できる機会の充実を図ります。OTA アートプロジェクトでは、大森・馬込文士村の文化資源を活用した地域密着型の事業企画を実施することで地域の魅力を発信し、潜在的な区民ニーズにも応えとともに、文化の掘り起こしを目指します。さらに「洗足池 春宵の響」などの特色ある区の文化事業に協力し、大田区の豊かな地域文化の形成と活性化に努めます。

展示・普及事業においては、区民の誰もが身近に文化芸術に触れることができるよう、無料や低廉な料金で楽しめる公演や展示を行います。また、若手アーティストの発掘に努めたり、アーティストを区内の学校や福祉施設へ派遣して施設内でコンサートやワークショップを行うなど、学校や地域へのアウトリーチ事業を通じて区内で本物の文化芸術に触れる機会を提供します。

公的補助金を抑制するため、引き続き各種助成金の獲得に努めます。また、公益事業への寄附金募集事業を拡大し、広く協会の公益事業を PR して参ります。

※事業名、日程などは変更となる場合があります。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止ため、一部事業を中止・延期する場合があります。(2) 以降の事業も同様。

## 大田区民プラザ

工事期間中のため実施なし

## 大田区民ホール・アプリコ

### ①公演事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	グループ	計画数
下丸子 JAZZ 倶楽部 30 <sup>th</sup> ANNIVERSARY	年 5 回	小ホール	音楽	B	614 人
アプリコお昼のピアノコンサート	年 3 回	大ホール	音楽	A	1,992 人
アプリコうたのナイトコンサート	年 3 回	大ホール	音楽	A	1,329 人
Future for OPERA in Ota,Tokyo 2023 大山大輔プロデュース 子ども達とつくるオペラガラコンサート お姫さまを取り戻せ！！	4月23日	大ホール	音楽	B	812 人
アプリコお昼のピアノガラコンサート 2023 ファンタジック・ピアノ・ワールド	5月13日	大ホール	音楽	A	738 人
フレッシュ名曲コンサート ロマンに満ちた珠玉のメロディ	6月3日	大ホール	音楽	B	816 人
(共同主催事業) 南こうせつコンサートツアー 2023 ～夜明けの風～	7月2日	大ホール	音楽	X	400 人
～本と音楽の素敵な出逢い～ Vol.1 『マチネの終わりに』	7月5日	大ホール	音楽	X	710 人
Future for OPERA in Ota,Tokyo 2023 イチから作る！！みんなのコンサート♪	8月20日	小ホール	音楽	B	80 人
下丸子 JAZZ 倶楽部 30 <sup>th</sup> ANNIVERSARY Happy Birthday CONCERT	9月2日	大ホール	音楽	B	878 人
矢部達哉&横山幸雄 with 遠藤真理 ベートーヴェンの真髄	9月30日	大ホール	音楽	X	871 人
(共同主催事業) 中村勘九郎、中村七之助「錦秋特別公演 2023」	10月6日	大ホール	伝統芸能	X	1,698 人
～本と音楽の素敵な出逢い～ Vol.2 『羊と鋼の森』	11月1日	大ホール	音楽	X	710 人
小曽根真 ソロ・ピアノコンサート	11月19日	大ホール	音楽	X	910 人
ジェイコブ・コーラー ピアノコンサート (仮称)	12月1日	大ホール	音楽	X	650 人
アプリコ・クリスマスフェスティバル 2023	12月16日	大ホール	音楽	B	974 人
第 89 回新春プラザ寄席 [アプリコ出張編]	1月5日・6日	大ホール	演芸	A	1,300 人
(共同主催事業) 新春！爆笑&感動！オールスター大集合！？ コロケ フィルハーモニー大音楽会	1月7日	大ホール	音楽	X	1,200 人

## ②展示事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	グループ	計画数
第36回大田区在住作家美術展	10月29日～11月5日	展示室	美術	B	3,500人
アプリコ アートギャラリー	年4回	地下1階	美術	B	-

## ③普及事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	グループ	計画数
Future for OPERA in Ota,Tokyo 2023 ジュニアコンサートプランナー ワークシ ョップ Part.1	4月9日、22日	大ホール他	音楽	B	30人
Future for OPERA in Ota,Tokyo 2023 ジュニアコンサートプランナー ワークシ ョップ Part.2	7月25日 ～8月20日 全10回	小ホール他	音楽	B	12人
おおた和の祭典特別企画 和太鼓体験ワークショップ	10月1日～29日 全5回	Aスタジオ	伝統芸能	B	32人
2024年度フレンドシップアーティスト オーディション（ピアノ・声楽）	9月～11月のう ち1次、2次	大ホール他	音楽	B	6人
Future for OPERA in Ota,Tokyo 2023 ぼくも！わたしも！！オペラ歌手♪	2月4日	大ホール	音楽	B	60人
Future for OPERA in Ota,Tokyo 2023 TOKYO OTA OPERA コーラス成果発表会	2月23日	大ホール	音楽	B	500人
大田区 JHS ウインドオーケストラ 春風コンサート	3月3日	大ホール	音楽	B	500人

## 大田文化の森

### ①公演事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	グループ	計画数
下丸子らくご倶楽部	年5回	ホール	演芸	B	879人
下丸子 JAZZ 倶楽部 30 <sup>th</sup> ANNIVERSARY	年2回	ホール	音楽	B	275人
納涼企画 講談×琵琶「怪談お囃（はなし）の 森」	8月19日	ホール	演芸	B	300人
馬込文士村演劇祭空想演劇祭 2023 上映&上 演（OTAアートプロジェクト）	12月9日～10日	ホール	演劇	B	610人

### ②普及事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	グループ	計画数
初めての日本画講座（春）	5月～6月	集会室	美術	B	20人
初めての日本画講座（秋）	11月～12月	集会室	美術	B	20人

## その他

### ①公演事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	グループ	計画数
蒲田映画企画（仮称）	11月11日	東京蒲田文化会館	映画	B	480人

### ②展示事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	グループ	計画数
マチニエヲカク VOL.5「光と風のモビールスケープ」（OTAアートプロジェクト）	5月2日～6月7日	田園調布せせらぎ公園・せせらぎ館	美術	B	—

### ③普及事業

事業名	実施時期	会場	ジャンル	グループ	計画数
“マチニエヲカク”（OTAアートプロジェクト）～アーティストと森をめぐる～	5月20日	田園調布せせらぎ公園・せせらぎ館	美術	B	40人
夏休みアートプログラム	8月5日～6日	調整中	美術	B	40人
【トーク】#loveartstudioOta（OTAアートプロジェクト）	通年（年4回）	大田区内	美術	B	—
【トーク】（OTAアートプロジェクト）アーティストと自転車で巡る大田区のアートスポット	調整中	大田区内	美術	B	40人
大田区学校出張講座	通年	区内小中学校 8校	音楽/ 演劇	B	8校
福祉施設訪問事業	調整中	区内福祉施設 2施設	美術	B	2施設

#### 【グループについて】

##### 「自主財源で行う事業」

Aグループ：大田区の文化芸術振興に寄与し、一定の経費補助が必要な事業

Cグループ：大田区の潜在的なニーズに対応し、一定の経費補助が必要な事業

Xグループ：人気、娯楽性があり、収入確保を目的に実施する事業

##### 「補助金で行う事業」

Bグループ：大田区の文化芸術振興に寄与し、経費補助が必要な事業

## **(2) 文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業【定款第4条第2号】**

### **①文化芸術活動支援事業**

大田区で文化芸術活動を行う団体などの活動を助成、支援します。

### **②公演サポーター事業**

公演準備やお客様のご案内など、楽しみながら公演に従事いただくことを目的とした公演サポーターを公募により通年で募集し活動を行います。

### **③大田文化の森活動支援事業**

大田文化の森は、区民の主体的な文化活動を支援し、交流の輪を広げることを目的に設置されました。区民自らが中心となって事業運営を行う任意団体として、大田文化の森運営協議会が各種の企画事業などを実施し活発に活動しています。協会は、運営協議会の支援を通じて、地域の区民の文化芸術活動を支えています。

### **④大田区平和都市宣言記念事業 花火打上事業**

大田区との共催で、「花火の祭典」の協賛金を募集します。

## **(3) 文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業【定款第4条第3号】**

区民の貴重な文化芸術資源である龍子記念館、熊谷恒子記念館、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館の収蔵作品・収蔵資料などの調査研究と適切な修復を行い、文化資源の良好な保管・展示の充実のための環境整備に努めます。また、収蔵作品などのアーカイブ化を進め、それらを効果的に活用していきます。

各記念館の展示においては、見やすく、親しみがもてるようなテーマを設定するなど、魅力ある展示企画を開催することで、より多くの区民に大田区の貴重な文化財産に接していただけるよう努めます。また、他の美術館などとの交流を深めて、収蔵作品を有効に活用していきます。

龍子記念館では、大田区で活躍する大田区美術家協会との地域連携企画展「大田区美術家協会の現在地（仮）」（時期未定）及び現代アートとのコラボレーション企画展「龍子記念館プラスワン（仮）」を10月～12月頃開催します。

また、地域との連携事業として、記念館コンサートや講演会、研究会などを実施し、日本画への興味と理解並びに知名度向上を図っていきます。

熊谷恒子記念館では、施設の延命化工事延長による休館に伴い、他の区施設での出張展示会を開催し、より多くの区民の方に鑑賞していただけるよう努めます。

各記念館ではSNSによる展示会や関連事業などの発信並びに各種ワークショップ、展示会の会期中のギャラリートーク・講演会などを開催します。また、区民に日本画や、かな書などへの興味と各記念館に対する理解を深めていただくよう、龍子記念館、熊谷恒子記念館、山王草堂記念館、尾崎士郎記念館の学芸員による連続講座を実施するとともに、調査・研究の成果を記念館ノートとして発行します。

## 龍子記念館

### ①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数
名作展Ⅰ「1963-2023 龍子記念館 開館 60年の歩み」	4月2日～7月2日	龍子記念館	2,500人
名作展Ⅱ「画家と生活 川端龍子の晩年の作品から」	7月15日～10月9日	龍子記念館	2,500人
コラボレーション企画展「川端龍子プラスワン（仮）」	前期 10月28日～12月17日 後期 1月4日～3月3日	龍子記念館	4,000人
名作展Ⅲ「タイトル未定」	3月20日～6月19日	龍子記念館	2,500人
地域連携企画展「大田区美術家協会の現在地（仮）」	時期未定	龍子記念館	

※企画展は、大田区の補正予算として上程され、可決された場合に実施予定です。

### ②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数
ギャラリートーク（一般対象）	月1回	龍子記念館	400人
ギャラリートーク（小・中学生対象）	8月	龍子記念館	50人
ワークショップ（小学生対象）	8月・3月	龍子記念館	40人
記念館講座	12月～3月のうち1回	大田文化の森	70人
記念館ノート発行	3月	-	-
地域連携企画・美術館コンサート	5月	龍子記念館	50人
展示作品などのYouTubeでの発信	通年	-	-
地域連携事業・講演会など	講演会：5月 研究会：5～10月（6回）	大田文化の森 ギャラリー南製作所	100人 50人

### ③展示・普及以外の事業

事業名	実施時期	会場	計画数
作品貸出（栃木県立美術館など）	10月	-	-

## 熊谷恒子記念館

### ①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数
出張展覧会 熊谷恒子かなの美展Ⅰ 「物語文学を中心に 恒子が愛用した書道具とともに」	5月20日～5月29日	池上会館	450人
出張展覧会 熊谷恒子かなの美展Ⅱ 「折手本を通して 書齋で学び伝えたかな書（仮）」	12月13日～12月17日 （予定）	アプリコ	300人

## ②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数
ギャラリートーク	各出張展覧会の土・日開催 予定（5回）	池上会館 アブリコ	100人
ワークショップ（小・中学生、親子対象）	8月12日・13日	大田文化の森	30人
記念館講座	12月～3月のうち1回	大田文化の森	50人
記念館ノート発行	3月	-	-
展示作品などのYouTubeでの発信	通年	-	-

## 山王草堂記念館

### ①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数
徳富蘇峰に関する展示	通年	山王草堂記念館	7,000人

### ②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数
馬込文士の足跡をたずねて（散策会）Ⅰ	5月14日	山王草堂記念館他	20人
馬込文士の足跡をたずねて（散策会）Ⅱ	3月24日	山王草堂記念館他	20人
ギャラリートーク	月1回	山王草堂記念館	120人
記念館講座	12月～3月のうち1回	大田文化の森	50人
記念館ノート発行	3月	-	-

### ③展示・普及以外の事業

事業名	実施時期	会場	計画数
展示パネル更新	随時	山王草堂記念館	-

## 尾崎士郎記念館

### ①展示事業

事業名	実施時期	会場	計画数
尾崎士郎に関する展示	通年	尾崎士郎記念館	-

### ②普及事業

事業名	実施時期	会場	計画数
ギャラリートーク	月1回	山王草堂記念館	120人
記念館講座	12月～3月のうち1回	大田文化の森	50人
記念館ノート発行	3月	-	-

### ③展示・普及以外の事業

事業名	実施時期	会場	計画数
展示パネル更新	随時	尾崎士郎記念館	-

#### (4) 文化芸術の活性化を図るための情報収集と発信に関する事業【定款第4条第4号】

区民への効果的なPRを図るため、協会が実施する事業を掲載した情報誌を作成し、DMや区内施設などで配布します。また、当協会の役割として期待されている「様々な団体とのネットワーク構築」や「文化団体の情報収集・発信」を強化するため、区内の文化・芸術情報を集めた情報紙を作成し、新聞折込にて区内全域に配布します。さらに、幅広い層への情報発信として、区内のケーブルTV、公式ホームページ、メールマガジン、YouTube、Twitter、Instagram、LINE、FacebookなどのSNSを含めた様々なメディアを活用して情報発信を行います。令和3年度に情報紙のPR強化として制作した公式PRキャラクター「リズビー」は、今後の活用に向け、権利関係の基盤を整えるための商標権登録を行い、新たな層へのアプローチとして、広報拡大に努めていきます。また、区内のアート活動の紹介や、アートをテーマに参加者とディスカッションを行う場として、OTAアートミーティングを開催します。

事業名	内容
情報誌「Art Menu」の発行	協会の主催・共催事業の情報、施設情報を掲載。区内公共施設・駅で配布の他、チケット購入者などへDM配布。回数：年6回偶数月
大田区文化芸術情報紙『ART bee HIVE』の発行	区内の文化・芸術に携わる文化人や施設、イベント情報を掲載。新聞5紙に情報紙を折り込み、区内全域に配布。回数：年4回
大田区文化芸術情報紙『ART bee HIVE』区民記者の委嘱	大田区文化芸術情報紙『ART bee HIVE』の企画や取材など情報紙制作の協力を目的とし、公募により年度ごとに委嘱し、活動。
大田区文化芸術情報紙『ART bee HIVE』公式PRキャラクターの活用	大田区文化芸術情報紙『ART bee HIVE』の広報ツールとして、公式PRキャラクターを活用。
協会公式番組『ART bee HIVE TV』の放映	大田区文化芸術情報紙『ART bee HIVE』紙面と連動した大田区の文化芸術情報番組をiTSKOM及びJ:COMにて放映。回数：年4ヶ月（1回10分、月4回放映）※東急線の車内PR動画での放映も実施
ホームページでの情報提供	協会の主催・共催事業の情報、施設情報の他、広報誌の案内、イベントカレンダーによる貸館情報を掲載。
SNSの活用	協会公式Twitter、LINE、Facebook、メールマガジンでは、協会の主催・共催事業の情報、施設情報の他、広報誌の案内を掲載。協会公式YouTube、Instagramでは、事業の模様や紹介を掲載。
区広報課への情報提供	協会の主催・共催事業の情報、広報誌の案内を情報提供。
有料のプレスリリースの配信	協会の主催・共催事業の情報を提供。
OTAアートミーティングの実施	アートに関する学びの場を設け、区内で文化活動を展開する個人・団体とのネットワーク構築と情報交換を目的とした交流の場を提供。



## **(5) 文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業【定款第4条第5号】**

### **①管理運営の取組**

文化芸術拠点施設には、大田区民プラザ、大田区民ホール、大田文化の森などのホール・展示室・集会室などの機能を持った施設があります。大田区民プラザは、令和5年3月から令和6年4月まで（予定）特定天井その他工事のため休館となっています。安全安心と快適性を増した施設となるように、工事が着実に進捗するよう区に協力していきます。各施設では新型コロナウイルス感染拡大防止を図りながら、地域の文化振興のため、区と連携して区民の自主的な文化活動を支援します。また、地域の中で文化活動に携わる人を結び、輪を広げ、集客を図り、賑わいを創出します。より多くの利用者が身近に参加していただけるよう、快適で利用しやすい施設を提供するために、以下の点に留意しながら管理運営を行っていきます。

◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「大田区文化振興協会感染拡大防止ガイドライン」に基づき、国や東京都などの動向を注視しながら、施設の特性や規模、利用状況から想定されるリスクを十分に考慮し、必要な対策を講じます。

◆施設や設備を良好に維持管理し、清潔で整った状態を保ち、安全で快適な環境づくりを行います。また、特定天井その他工事に合わせて、各施設の老朽化した設備などの改修工事を実施します。

◆令和5年4月抽選分から、インターネット申込み、自動抽せんによる抽せんシステムを導入し、利用者の利便性を高めます。

◆施設を利用されるお客様に適切な情報提供やご案内をすることで、文化芸術活動の促進に寄与します。

◆各種安全対策を実施するとともに、地域と連携した施設づくりなど、指定管理者としての役割を十分に果たしていきます。

◆施設の管理運営にかかる経費を不断に見直し、効率的に施設運営を行います。

### **②施設ごとの具体的な取組**

大田区民プラザでは、令和5年3月から特定天井その他工事に着手しています。天井の耐震工事に合わせ、大ホール舞台機構設備改修工事、空調設備改修工事、内部改修工事など、区が実施する工事の実施に協力し、安全で快適な利用しやすい施設を目指します。また、工事中は大田区民ホール・アプリコ内においてプラザに関わる施設予約や施設使用料の収納事務などの窓口業務などを行いサービスの提供を継続します。

大田区民ホール・アプリコでは、令和4年1月から令和5年2月まで特定天井その他工事を行いました。天井の耐震工事に合わせ、大ホール・小ホールの舞台機構設備改修、展示室のパネル交換、照明設備改修、ITV（防犯カメラ）更新、昇降機更新、だれでもトイレ機能更新、ピクトグラム拡充など老朽化した設備の改修や更新工事を行い、安全で快適な利用しやすいホールを実現しました。音響の良さが評判の大ホールには、新たに高音

能の高輝度プロジェクターを整備し演出効果を拡張しました。また、令和5年はアプリコ開館25周年にあたることから、記念コンサートなどを行います。

大田文化の森では、集会棟LED改修工事、男女トイレ人感センサー設置工事、自動ドア取替工事、集会棟ITV（防犯カメラ）更新工事などを実施し、文化活動拠点施設として快適かつ安全性が確保された環境整備に努めます。特定天井その他工事については、区と連携・情報共有を密接にしなが、区が行う実施設計に協力していきます。情報館の運営においても、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図りながら様々な自主企画講座を提供していきます。

施設名	所在地	主な施設
大田区民プラザ	大田区下丸子3-1-3	大ホール（509席） 小ホール（198㎡） 展示室（372.9㎡） 他、リハーサル室、音楽スタジオ、会議室、和室、美術室などあり
大田区民ホール・アプリコ	大田区蒲田5-37-3	大ホール（1,477席） 小ホール（210㎡） 展示室（420㎡） スタジオA（110.7㎡） スタジオB（57.7㎡）
大田文化の森	大田区中央2-10-1	ホール（259席） 多目的室（313㎡） 展示コーナー（125㎡） 他、音楽スタジオ、創作工房、和室、集会室、情報館などあり

## （6）その他この法人の目的を達成するために必要な事業【定款第4条第6号】

### ①利用者の利便性向上に資する付加サービス事業

施設利用者が主催する公演のチケットを受託し、窓口で販売します。新型コロナウイルス感染拡大防止を理由に、施設利用者が主催する公演が延期または中止となることが発生したことから受託販売を中止していましたが、令和5年4月1日以降受託販売を再開します。

また、情報館において資料の複写や印刷をするための機器を設置し、利用者が利用できるよう有料のサービスを提供しています。

### ②大田区から受託するスポーツ施設などの管理運営に関する事業

大田区民プラザの体育室及びトレーニングルームは特定天井その他工事により休止します。大田文化の森のスポーツスタジオは、引き続き区民が安心して利用できるよう、

新型コロナウイルス感染拡大防止対策や定期点検を着実にを行い、適切な管理運営に努めます。

## 5 経費内訳

項目	定款	金額
(1) 文化芸術の振興に資する公演及び展示等の実施に関する事業	第4条第1号	151,891,600
(2) 文化芸術活動の支援、協働及び育成に関する事業	第4条第2号	21,837,000
(3) 文化芸術資源の調査、収集、保存及び活用に関する事業	第4条第3号	82,678,000
龍子記念館	－	60,073,000
熊谷恒子記念館	－	8,939,000
山王草堂記念館	－	8,633,000
尾崎士郎記念館	－	5,033,000
(4) 文化芸術の活性化を図るための情報収集と発信に関する事業	第4条第4号	19,666,000
(5) 文化芸術の拠点施設の管理運営に関する事業	第4条第5号	385,199,000
大田区民プラザ	－	25,678,000
大田区民ホール・アプリコ	－	132,168,000
大田文化の森	－	227,353,000
(6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業	第4条第6号	8,048,000
(7) 上記1号から6号を達成するために必要な人件費	－	287,561,000

※大田区の補正予算として上程され、可決された場合の案件を含む。